

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

## ヘルスケア MaaS の研究拠点を 湘南ヘルスイノベーションパークに設置

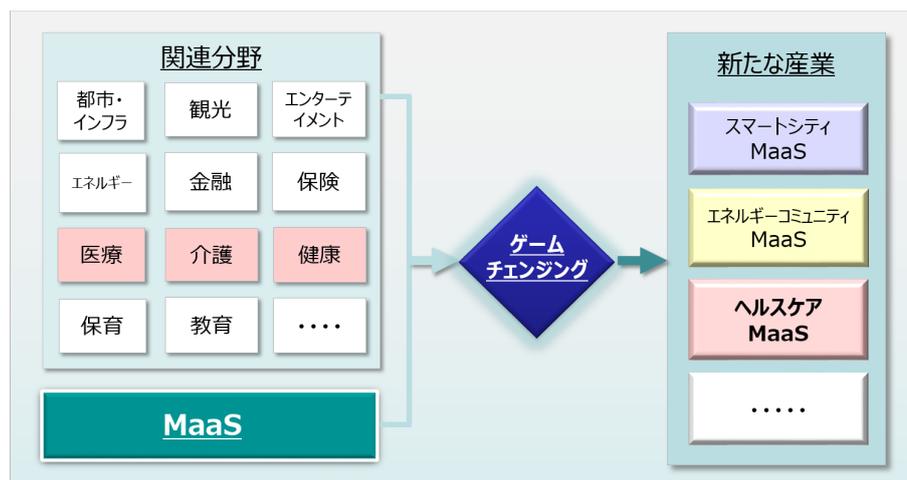
国立大学法人横浜国立大学（学長 長谷部 勇一）は、11月26日に開催した「YNU 研究イノベーション・シンポジウム 2019」において、ヘルスケアとモビリティを結びつけた新たな産業「ヘルスケア MaaS」の創出を目指し、そのための研究拠点を湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）に設置することを発表しました。

今後、横浜国立大学と湘南アイパークは、ヘルスケア MaaS のための連携構築の覚書を締結する予定です。

今、社会ではモビリティ（移動すること）が大きく形を変えようとしています。バス、タクシー、鉄道などの複数の交通手段が統合・一体化されることで、様々な移動が一つにつながり、システムになり、新たなサービスが生まれてきます。「移動することがサービス化」された社会、MaaS（Mobility as a Service）が広がっていきます。

「ヘルスケア MaaS」とは、このモビリティの新潮流である MaaS を医療、介護、健康などに適用していく試みで、MaaS により「人と場所」「ニーズとシーズ」「課題と解決策」などを一体化することで、ヘルスケアの新たな価値を生み出すことを狙っています。

### MaaS <Mobility as a Service> による「新たな産業の創出」



そのために、横浜国立大学は、ヘルスケア MaaS の研究拠点となる「YNU イノベーションハブ・ヘルス（仮称）」を湘南アイパークに設置し、産学官が連携するオープンイノベーションを展開していきます。

イノベーションハブを求心力にヘルスケア MaaS のための産、学、官を結集し、産学官が協働しながらヘルスケア MaaS のビジョンを示し、ビジョン実現のシナリオを作り、大きな連携構想を描き出します。



今後、横浜国立大学のモビリティ研究と湘南アイパークのイノベーションシステムを結びつけることで、新たなビジネス、スタートアップ、プロジェクトなどに繋げていく計画を進めてまいります。

■横浜国立大学について <https://www.ynu.ac.jp/>

横浜国立大学は、4つの旧制学校を母体に1949年に新制大学として設立した総合大学で、横浜市保土ヶ谷区常盤台のワンキャンパスに5学部・5大学院を有しています。

「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを憲章として宣言しています。

■湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、サイエンスにおけるイノベーションを強化するために、武田薬品工業株式会社が湘南研究所を開放することにより設立されました。製薬企業が有する創薬ノウハウを基盤として、ベンチャー、スタートアップを含む産官学が結集し、ライフサイエンスにおける最先端技術・知見を活用したアイデアの創出・実現を可能とするイノベーションを加速化することを目指しています。

本件に関するお問い合わせ先

**横浜国立大学**

産学・地域連携課長 岸 信治 Tel : 045-339-3073

**湘南ヘルスイノベーションパーク**

コミュニケーション担当：外川、日比野

Mail : [smb.iparkcommunication@takeda.com](mailto:smb.iparkcommunication@takeda.com)

広報窓口：株式会社コスモ・ピーアール内

担当：藤崎

TEL: 070-1592-5490 Mail : [ipark@cosmopr.co.jp](mailto:ipark@cosmopr.co.jp)